

Toyo Bunko Museum

The Treasures of Iwasaki Collection

岩崎文庫

岩崎文庫の名品

三菱創業一五〇周年記念

—東洋の叡智と美—

2020年10月7日(水)~2021年1月17日(日)

日本最大級の本の博物館

東洋文庫ミュージアム

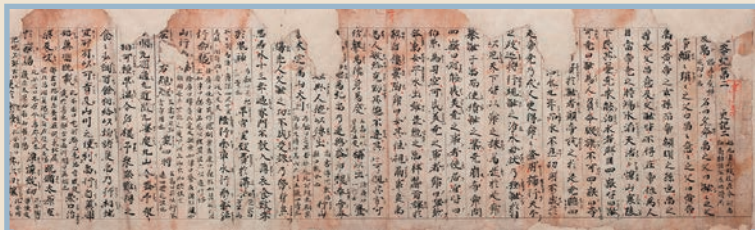
〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21 TEL: 03-3942-0280
 入館料 ◆ 900円(一般)・800円(65歳以上)・700円(大学生)・600円(中・高校生)・290円(小学生)
 アクセス ◆ 駒込駅 (JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口) 徒歩8分、
 千石駅 (都営地下鉄三田線A3番出口) 徒歩7分
 都営バス上58系統・茶51系統「上富士前」徒歩1分
 開館時間 ◆ 10:00~17:00 (最終入館は閉館の30分前まで)
 休館日 ◆ 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌平日)、12月29日~1月3日
 主催 ◆ 公益財団法人 東洋文庫
 協賛 ◆ 三菱創業150周年記念事業委員会

All exhibits with English explanations.

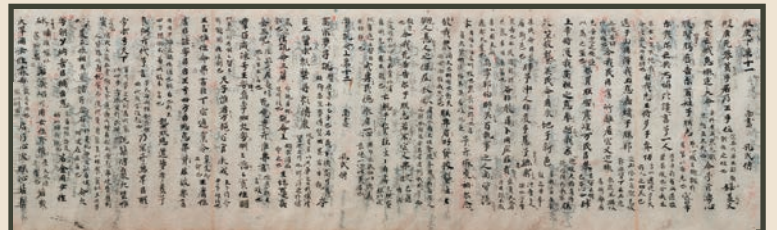
※会期中に展示替えを致します。また、記載の予定は変更、中止となる場合がございます。当館のホームページで最新の情報をご確認ください。

「おひさしぶり」と「はじめまして」の名品づくり

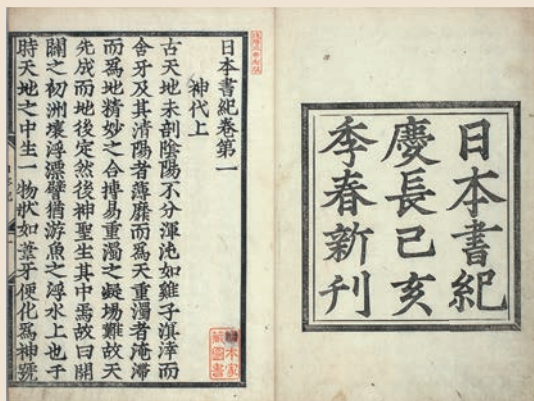
東洋文庫は、岩崎^{ひさや}久彌（三菱第三代社長）の支援によって1924年に設立されました。設立にあたって、久彌は土地や資金を援助するだけでなく、蔵書の充実に尽力し、かずかずの貴重な書物が東洋文庫に集まりました。日本・中国の古典籍を愛した久彌が、個人的に収集した旧蔵書「岩崎文庫」（約3万8千点）も生前に寄贈され、東洋文庫の柱というべき重要なコレクションとなっています。本展では、岩崎文庫の中から国宝、重要文化財をはじめ、貴重かつ美しい本や浮世絵など、日本の書物文化の歴史を彩る名品を厳選してご覧いただけます。



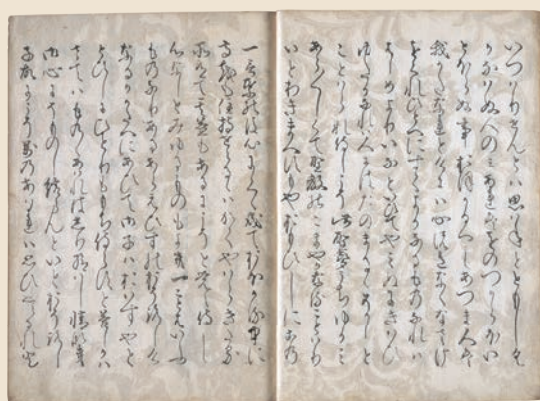
国宝『史記 夏本紀』 12世紀(平安時代)写



国宝『古文尚書』 7-8世紀(唐時代)写



『日本書紀(後陽成天皇勅版)』 1599年刊



『徒然草(嵯峨本)』 17世紀(江戸時代)刊



『やつし費長房』 鈴木春信 1764-1772年頃



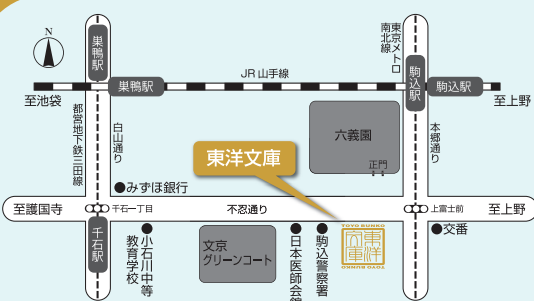
『管家物語』 17世紀(江戸時代)写



『伊勢物語 芥川』 鳥居清長 1781-1789年頃

- 前期展示：10月7日～11月23日
- 後期展示：11月25日～1月17日

※開館状況、展示内容等は変更となる場合がございます。最新の情報は東洋文庫ミュージアムのホームページをご確認ください。



交通案内：
駒込駅（JR 山手線南口、東京メトロ南北線 2番出口）徒歩 8分
千石駅（都営地下鉄三田線 A3番出口）徒歩 7分

東洋文庫

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-21
TEL：03-3942-0280
<http://www.toyo-bunko.or.jp/museum/>

- ◆あわせてご利用ください
- *ミュージアムショップ
「マルコ・ポーロ」
(10:00～17:00)
- *レストラン
「オリент・カフェ」
(11:30～21:30)
03-3942-0400
ご予約の際はレストランに直接お電話ください